



6/29(土)に行われた「第42回中学生の主張大会」、学校代表者の主張作文をご紹介します。

『失ったものと引き換えに』 舞鶴市立白糸中学校 3年 土居きずな さん

「緊急事態宣言が発令されました。皆さん、3密を避け、不要不急の外出を控えて下さい。」

この言葉によって、私たちの青春は突如として奪われた。

2020年一月十五日、日本で最初の新型コロナウイルス感染者が確認された。皆、普通の風邪と何ら変わりないものだと思っていた。しかし私たちの考えとは裏腹に、コロナは感染力が強く、多くの死亡者を出した。それ以来、私たちはマスク生活を送ることになった。

翌日、マスクをつけて学校へ登校した。皆がマスクを着けていた。友達は確かに笑っているのに、顔がよく見えず、どこか寂しかった。楽しみにしていた遠足が中止になったり、運動会の醍醐味である組体操がなくなったりもした。応援してくれる友達はすぐそこにいるのに、声は一つも聞こえなかった。たった数ヶ月で、私たちの暮らしは一変した。行きたいところに行けない。みんなと会えない。かつての日常は失われた。

それから約一ヶ月が過ぎた時、全国の小中学校そして高校の休校が決まった。友達と会える唯一の手段だった学校でさえ、行けなくなってしまった。とても一言では言い表せない感情に襲われた。悲しくて、悔しくて、腹立たしくてたまらなかったこの想いをどこにもぶつけることが出来ないまま、私たちは小学校を卒業した。大きな不安を抱えながら生活をしてきた時、安倍元首相は会見を開いた。「九年前、私たちはあの東日本大震災を経験しました。辛く、困難な日々の中で、私たちに希望をもたらしたものが、それは人と人の絆、日本中から寄せられた助け合いの心でありました。ウイルスとの闘いに打ち勝ち、この緊急事態という試練も必ずや乗り越えることができる。そう確信しています。」この言葉に私は救われた。絆や助け合いの心があれば、何でも解決できると思っていた矢先、私たちは思いがけないところでつまづいた。2023年、気づいたらマスク生活は3年目を迎えていた。そんなある日、大きな変化が現れた。それは、三月十三日からは個人の主体的な選択を尊重し、マスク着用は個人の判断が基本となるという内容だった。三年前であれば、どんなに嬉しいことだっただろうか。きっと、みんなで笑い合ったあの日常が戻ってくることを心待ちにしていたはずだ。しかし残念なことに、私たちは、多くの時間を費やしてしまったことで、コロナ禍の生活に慣れてしまった。学生の半分は、この生活を続けていきたいという結果になった。私は疑問に思った。なぜ考えが変わってしまったのだろうか。英国の研究によれば私たち人間は、環境に対する順応力が強く、幸福や不幸にもすぐに慣れてしまう。よって、生活環境にはあまり影響されないようにできているようだ。だが今回ばかりは、順応するべきではなかったと思う。必ずしも順応しようとする本能が正しいとは限らない。だから私たちは、心から願っていた。「私たちの青春を返してくれ」と。しかし、私たちの願いが叶うことはなかった。今でも度々、思い出す。「あの頃の私は」と。四年前を振り返ってみれば、私たちはたくさんのことを知らなかった。汗を流し練習する部活動。クラス全員で心をつなげて練習する合唱。美味しいねと言いながら食べる給食。誰しもが当たり前だと思っていた。しかしその当たり前を失った時、私は日常の尊さを学んだ。だが本当は、この4年間がなくとも日常の尊さに気づける人でありたかった。いや、この四年間があったからこそ、日常が当たり前ではないことに身をもって感じる事ができたのだろう。



白糸中学校では、6月12日(水)に全校で「いじめアンケート」を実施しました。

実施前に校長から「さて、今日は1学期のいじめアンケートの日です。このアンケートは年間2回行われますが、白糸中学校では、毎年、その時期に合わせて、いじめ撲滅など人権の大切さを学ぶホットハートプロジェクトに取り組んでいます。こういった機会に、いじめは決して許さないという気持ちを、たくさんの方が持つことが何より大切です。いじめは見えにくく、気づきにくい。

SNS等で見えないところでいじめが行われていることもあります。いじている人がいじめと認識できていなかったり、いじめにあっている人が、いじめられてると言ったらさらにいじめがエスカレートするのではという恐怖、先生や親、周りの人にもどうせ理解してもらえないということもあると思っています。

先生たちも普段のかかわりの中で少しの変化に気づこうと頑張っていますが、人の心というのは見えにくいものです。そういった意味でも、今日書いてもらうアンケートで、自分自身が困っていることや悩んでいること、また、困っている友達の事など気付いていることを何でも書いてもらうことで、見えにくい少しの変化に気が付き、対応ができます。白糸中のみんなが互いを支え合い、ホットハートに包まれた学校になるためにも、今日のアンケートを大切にしてください。」と話をしました。その日の内に教員ですべての内容を確認し、気になる内容についてはその日のうちに生徒に聴き取りをしました。また、校内いじめ対策委員会を持ち、翌週から二者懇談を実施しました。一人一人の気持ちに寄り添う中で、未然防止、早期発見につなげていきたいと考えていますので、ご家庭でもお気づきのことがありましたらご連絡お願いいたします。

今後ともよろしくお願いたします。

校長 松林周一郎 教職員一同



日曜日 7月学校行事 

1	月	
2	火	高校説明会(5・6限) SC
3	水	4限45分 ノー部活
4	木	マイチャレンジテスト① 学校運営協議会
5	金	おでかけほっと
6	土	
7	日	
8	月	6限45分 全専門委員会
9	火	ノー部活 SC 浴衣教室2年
10	水	部活動強化週間 浴衣教室2年
11	木	部活動強化週間 3年租税教室 小中一貫部活見学会
12	金	部活動強化週間
13	土	中丹総体 (野1・卓・ソフテ・柔)
14	日	中丹総体 (野2)
15	月	海の日
16	火	部活動強化週間 SC
17	水	部活動強化週間
18	木	部活動強化週間
19	金	一学期終業式(市長講話) 給食なし
20	土	中丹総体 (野3・剣・卓・ソフテ・ソフボ・バスケ)
21	日	中丹総体 (野4・卓・ソフテ・ソフボ・バスケ・バレー)
22	月	中丹総体 (バスケ・バレー)
23	火	
24	水	ノー部活
25	木	府総体
26	金	府総体 学校徴収金引落し日
27	土	府総体
28	日	府総体
29	月	府総体 3年三者懇談会(～8月2日まで)
30	火	府総体 3年三者懇談会
31	水	ノー部活 府総体 3年三者懇談会

部活動強化週間中は、5限45分です。水分を多めに持参してください。

夏休み中も、基本的には水曜日をノー部活デーとしますが、熱中症対策のため、天候や体育館割り当ての関係で、曜日を変更することがあります。

担任の出張等により学級ごとに多少日程が異なる場合があります。

日曜日 8月前半の主な学校行事 

1	木	3年三者懇談会
2	金	3年三者懇談会
5	月	近畿総体～10日(土)
9	金	教育活動のない日～16日(金)

サマーコンサート



6月22日(土)に舞鶴総合文化会館大ホールでサマーコンサートが開催され、オリオンクラブも出演しました。1年生にとっては、緊張の初舞台でしたが、演奏もかわいいダンスも大好評でした♪

【演奏曲】 ・センチュリア ・Mela! ・夏祭り



 各種大会・コンクール等の結果 

第60回舞鶴市民スポーツ祭			
団体		野球	
		ソフトボール(和田中学校との合同チーム)	
		バスケットボール男子	
		バスケットボール女子	
		卓球男子	
個人	準優勝	卓球女子	優勝
		剣道男子	優勝
		柔道女子：軽量級	優勝
		柔道男子：60kg級	準優勝
		バレーボール男子	優勝
		下梶谷 凜	
		奥田 祈愛桜	
		西久保 陸斗	



第74回中丹中学校総合体育大会陸上競技の部					
男子			女子		
3000m	1位	玉林 文人	800m	1位	塩見 心菜
4×100mR	2位	竹内 友哉	1500m	1位	岸本 美紀
		山崎 灯真	200m	2位	石田 花恋
		岡本 優汰	低学年	3位	糸井 七海
坂場 遥斗	谷本 葵				
走高跳	2位	福本 昊平	4×100mR		田中 葵咲
110mH	3位	岡本 優汰			石田 花恋

第70回両丹中学校バレーボール大会			
男子の部	準優勝	女子の部	第3位
ピティナ・ピアノコンペティション			
地区予選通過→地区本選出場決定		小泉 絢太郎	
(ソロ部門・デュオ部門)		小泉 聡次郎	

Hot Heart Project



白系中学校では、人権学習を机上の学習だけで終わらせず、広い視野で社会に目を向けて考え、偏見と差別を見抜き、実践できる資質の育成を目指して、「Hot Heart Project」に取り組んでいます。全学年で取り組んだ「いじめ学習」を皮切りに、各学年、以下の内容に取り組みました。

- 1年生：白系の人権学習の歴史
いじりから考える友達関係
偏見って何？
- 2年生：共に生きる社会を築く
(在日外国人問題)
- 3年生：平和学習
被災者の人権

